

東阪電子機器社長
ながのひとし
永野 仁士氏

さあ! 出番

IT'S YOUR TURN



父が興じた会社を2代目として継いだ。「(就任までに)さまざまなことにチャレンジしてきた。挑戦しているときに一番頑張れる」とモットーを語る。オムロン時代は台湾に駐在。部下のスキル

オープンイノベに意欲

育成や行政との交渉を通じて「どうやってアプローチすれば話を聞いてもらえるのかを学んだ」。組織を変革する対話は今も心がける。東阪電子機器が手がけるのはモーションコントロール。就任を機に本社を東京から大阪に移しており、今後は大学発ベンチャーなどのオープンイノベーションに積極的に取り組む。イノベーションの「モデル作りを目指す」と意気込む。趣味はテニスとスカッシュの要素を含むスポーツ「パデル」。社内では「ボブ」のあだ名で親しまれる。(大阪・森下晃行)

02年(平14)法政大経済卒、同年オムロン入社。17年東阪電子機器入社、21年常務。大阪府出身、44歳。4月1日就任。(大阪府吹田市江の木町29の1)